

公表:2023年 3月

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	2	1	・利用児の人数や特性に応じて2つの教室に分かれて療育を行っています。
	②	職員の配置数は適切であるか	1	4	2	・必要に応じて1対1で対応できるよう、職員間で調整しています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	2	5	0	・声の大きさ表や時計に目印をつけて遊びや活動の時間を視覚的に伝えるように心がけています。 ・荷物や靴の置き場が分かりやすいように、椅子を使用するなど環境を調整して個々に配慮できるよう工夫しています。 ・園内の車いすの移動は段差の解消や通路の広さなど改善が必要だと思えます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6	1	0	・掃除や整理整頓のほか、感染症対策の消毒や換気を行い、清潔な環境を心掛けています。 ・活動中と活動後に使用した玩具や室内遊具の消毒も行っています。 ・室内活動と戸外活動を組み合わせることで子どもたちが楽しく学べるように工夫しています。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	3	0	・職員ミーティングで活動のねらいと振り返りを行い、情報の共有を図っています。部署内研修や職員教育により気づきを大切に、誰でも提案できることで、より良いシャロームを目指しています。 ・振り返りでは改善すべき点を提案し、職員間で考えることが出来るようにしています。 ・月案や行事の振り返りも行っています。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	0	0	・いただいた評価やご意見にもとづき、職員間で話し合い業務改善につなげています。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7	0	0	・年に1回ホームページで公開しています。 ・ホームページ http://nishinasuno.ed.jp/sharoumu/
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	3	1	・2023年3月時点、第三者による外部評価を行っていません。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	0	0	・部署内研修(毎月)や、公開研修を行い、資質の向上に努めています。 ・外部研修(県や市の主催、全国児童発達支援協議会、各学会等)にも積極的に参加しています。今年度はオンライン研修と集合研修で可能な限り職員が参加しました。

適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	7	0	0	・ご家族にニーズを確認後、他職種によるアセスメント、カンファレンス実施し、多面的に捉えながら、計画書の作成を行っています。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	3	2	・ガイドラインの項目に準じたアセスメントツールを使用しています。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7	0	0	・ガイドラインに示されている「発達支援」「家族支援」「地域支援」を取り入れ、具体的な支援内容で進むことができるよう努めています。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5	2	0	・支援計画を意識した関わりを心掛けています。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	2	1	・活動内容やねらいを確認し、職員間で意見を出し合っています。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3	3	1	・季節や天候などを考慮し活動を計画しています。活動の中で年齢や特性、人数に応じて課題を変えて取り組むことで、子ども達の自発性を大切にしながら取り組んでいます。 ・「戸外遊び」の中で、はんとう棒や平均台、体操など異なるプログラムを取り入れています。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成しているか	7	0	0	・一人ひとりの特性を把握し、集団活動を通して遊びから学ぶことで計画書を作成しています。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	0	0	・ミーティング時（朝・昼）に、人数・活動内容・目標・担当・連絡事項などの確認を行っています。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	1	0	・職員間でその日の気付きや反省等を報告し話し合っています。当日できない時は、必ず翌日のミーティングで行い、すぐに業務に生かせるようにしています。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	0	0	・毎日ケース記録、日誌を記入し、1日の様子の振り返りをしています。その都度、支援内容等を振り返り、今の子ども達の発達に適切かどうか全員で確認しています。
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	7	0	0	・半年ごとにモニタリング、カンファレンスを行い、子どもの成長に合わせて計画の検討、見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	1	0	・サービス担当者会議には直接子どもと携わり計画書を立案した職員が参画しています。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	5	2	0	・関係機関の会議等を通して連携し、支援の向上に努めています。

関係機関や保護者との連携	⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	7	0	0	・保護者等より医療機関から計画書を頂き、情報の共有と支援の向上に努めています。 ・訪問看護・PT・OTと連携を図り、情報を共有しています。 ・幼稚園・保育園・放課後児童クラブが隣接しているため、様々な交流の中で学び得ることが出来るよう環境調整を行っています。
	㉑	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	6	1	0	・主治医・医療機関などの連絡先をあらかじめ確認し、連絡体制を整えています。医療的ケアについては、主治医より指示書を頂き、看護師が実施しています。
	㉒	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6	1	0	・園の担当教諭からの申し送りにより情報共有を行っています。幼稚園に入園する利用児の様子についても伝達しています。
	㉓	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5	2	0	・サービス担当者会議などで各学校を訪問し情報を共有しています。
	㉔	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	2	1	・毎年、公開研修を実施しています。また、自立支援協議会の子どもグループ活動を通して、関係機関で研修を開催し、連携や知識の向上に努めています。
	㉕	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、活動する機会があるか	7	0	0	・学園内に幼稚園、保育園等が隣接しており、活動・行事(ちびっこクラブ)など交流する機会が多くあります。 ・年長児が幼稚園の預かり保育(わんぱく)と一緒に活動する機会が出来ました。
	㉖	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子どもの子育て会議等へ積極的に参加しているか	4	1	2	・自立支援協議会や発達支援システム実務者会議等に職員が参加しています。
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	0	0	・面談や日々の連絡ノート、送迎時に保護者様に子どもの様子を伝え、分かち合いの機会を設けています。
	㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	1	4	2	・2023年度以降に職員がペアレント・プログラムの研修を受講予定です。
保護者への説明責任等	㉙	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	0	0	・契約時に面談を行い、運営規定や利用者負担等について説明しています。
	㉚	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	7	0	0	・計画書を作成後、年2回の面談の中で説明を行い利用児の様子を保護者と共有し同意を得ています。
	㉛	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	0	0	・面談以外でも相談があった際には、迅速に対応するように心がけています。 ・悩み事を話して下さるご家族に寄り添った助言と支援が行えるよう努めています。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	0	5	・新型コロナ感染症予防のため、父母会等は実施しませんでした。

保護者への説明責任等	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	0	0	・迅速に対応し、職員間での情報共有を行っています。 ・相談があったときは職員と管理者等の2名で面談しています。
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	1	0	・年4回シャローム便りを発行し、活動の様子を写真やコメントを掲載しています。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか	7	0	0	・電子記録による情報漏洩防止(情報漏洩の保険加入)や鍵のかかる棚での保管を徹底し、不要になった個人名記載書類はシュレッダーにかけています。
	③⑨	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	0	0	・子どもの気持ちを受け止め、一人一人に合った支援を心がけています。 ・ご家族とはお迎えや電話・面談等でコミュニケーションを図っております。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	0	4	・新型コロナウイルス感染症予防のため、今年度は実施ませんでした。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	6	1	0	・法人共通のマニュアルで周知を行っています。非常災害時のマニュアルは、ハザードマップの更新にもとづいて順次見直しする予定です。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	0	0	・定期的に避難訓練を行い、避難経路や避難方法を確認しています。幼稚園と合同で地震や火事の際の避難訓練を行っています。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	7	0	0	・契約や受け入れの際、連絡ノート等にて事前に服薬や発作等の情報を確認し、職員間で対応方法を共有しています。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、指示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	7	0	0	・医師の指示に基づく指示書を提出してもらい、対応しています。また、給食(アレルギー対応食あり)やおやつを提供する際も、事前に看護師が確認をしてダブルチェックをしています。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7	0	0	・ヒヤリハットやインシデント等があった場合には、当日中に安全策の話し合いを実施しています。報告書はファイリングし保管をして振り替えることが出来るようにしています。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	0	0	・虐待防止・権利擁護研修に参加しています。学んだことを部署内研修で共有しています。引き続き、必須研修としていきます。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	5	1	1	・契約時に面談を行い、やむを得ず身体拘束を行う場合について説明しています。 ・個別に支援や関わり方を常に検討しています。

◎ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。